

チョコ停ゼロ・故障ゼロ、品質確保をかなえる 設備保全システムの 考え方とつくり方

—保全体制・保全計画のつくり方から指標管理、故障の源流対策まで

大阪会場

日時 **2021年5月21日(金)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

会場 **日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場**
大阪市中央区北浜東 2-16

受講料 **44,000円**
(東京・大阪) (資料含む、消費税込)

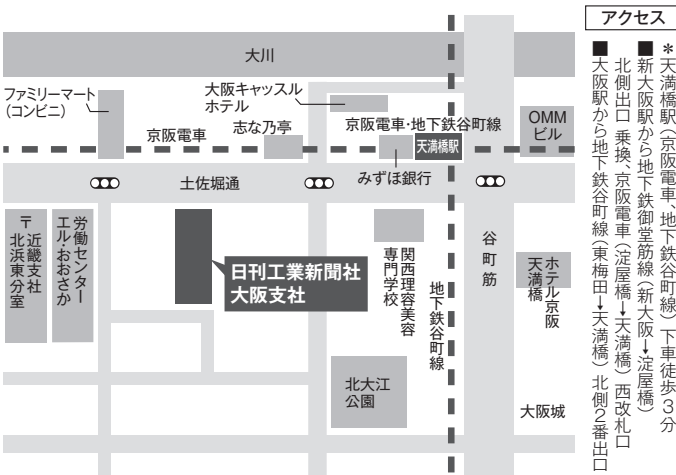
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円
*追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります場合がございます。予めご了承ください)

東京会場

日時 **2021年6月11日(金)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

会場 **日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム**
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

5/21 大阪会場案内図 日刊工業新聞社 大阪支社セミナー会場



6/11 東京会場案内図 日刊工業新聞社セミナー会場



セミナー申込を検討中の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認いただけます。
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693> **受講にあたり** 開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)
お申し込み方法 ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。
受講料 セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。振込手数料は貴社でご負担願います。
キャンセルポリシー 開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
*会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部 TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

受講申込書		設備保全S		お申し込みは 日刊工業 セミナー <input type="text"/>	
※○印を記入してください (5/21 大阪) (6/11 東京)				https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search	
会社名	フリガナ	業種		TEL	
氏名	フリガナ	FAX		E-mail	
所在地	〒	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。			
備考					

開催主旨

生産設備の自動化、顧客の短リードタイム要求の増大が進む中、設備トラブルによる設備稼働停止が生産に与える影響はより一層大きくなっています。設備トラブルを低減させるには、設備の信頼性を向上させる必要があり、計画的かつ正しい保全活動を行うための設備保全システムを拡大させることが重要になります。

設備の信頼性向上は、**既存設備の信頼性を改善・維持する活動**であり、点検や修理復元、再発防止を実践する**地道な活動**と、故障や劣化の原因を突きつめ、かつ効率的な保全体制を実現する**戦略的な活動**が二本柱となります。

そこで、本講座は**故障ゼロへのアプローチ**とその実践、**計画保全の基本的な考え方**、**保全体制づくり**の具体的な活動内容を解説。併せて、故障ゼロ化のための**源流対策としての解析法**を紹介し、設備の信頼性向上につなげるための方策を習得します。

講師

株式会社アステックコンサルティング コンサルティング本部 コンサルタント **河口 憲司 氏**

■職歴

大手航空機製品メーカーにおいて設計開発、設備開発、生産技術に従事し、同社の新規開発品の設計や海外サプライヤーへの作業指導及び設備立上げ支援など幅広い分野で多大な成果を上げた。

その後、(株)アステックコンサルティング入社。

熱意あふれる指導と粘り強く問題に取り組む姿勢は、真に現場を変えるコンサルタントとして高い評価を得ている。

■コンサルティングテーマ

- ・ 全社最適化収益改善
- ・ 製造部門、間接部門の生産性向上
- ・ 設計開発部門の効率化、リードタイム短縮
- ・ 品質改善支援
- ・ 生産管理システム、スケジューラ導入支援

■指導企業 及び コンサルティング内容

- ・ 金属製品メーカー 生産能力向上、労働生産性向上、納期遵守率向上
- ・ 電気機器メーカー 現場改善による生産性向上、物流改善による生産性向上
- ・ 機械加工・組立メーカー 一気通貫生産方式導入による収益改善
- ・ 金属加工メーカー 工場の生産性向上と在庫削減
- ・ 住宅用部材メーカー 現場改善、品質改善によるクレーム低減と生産性向上

等



プログラム

1. 設備保全の目的と基礎知識

- 1-1 設備管理・機械保全の必要性
- 1-2 コストミニマムを考える
- 1-3 設備保全における問題点の把握

2. モノの流れを止めない視点を持つ

- 2-1 流すスピードを決める
- 2-2 現場を見て流れが見える工夫
- 2-3 フロー化することのメリット

3. 設備を分類して保全方法を決める

- 3-1 モノの流れを止めない設備保全
- 3-2 保全活動を使い分ける
- 3-3 ボトルネック工程を把握する

4. 予防保全活動の進め方

- 4-1 チョコ停の種類と時間を把握する
- 4-2 4M変化点を捉える
- 4-3 チョコ停改善のステップ

5. 事後保全活動の進め方

- 5-1 保全時間の内訳
- 5-2 原因追究で判断時間を削減する
- 5-3 修理時間の削減

6. 設備保全体制確立のポイント

- 6-1 保全業務の分類と業務分担
- 6-2 保全体系の構築
- 6-3 予備品管理の進め方